

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市文化振興財団事業補助			事業番号	008-035
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	文化施設の利用者数			
		寄与するKPI	有	現状値	1,049,822人(2019年度)	目標値	1,500,000人(2025年度)	
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9		
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画						
3	事業開始年度	平成 6 年度		点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	公益財団法人 堺市文化振興財団					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、市内外の文化芸術等に興味のある方	対象数	—		単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境が創出され、生活に潤いや心の豊かさを感じ、子どもの感性が磨かれ、個性豊かな文化的魅力に満ち、内外の人々で賑わうまちにする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>(公財) 堺市文化振興財団が実施する以下の事業に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の文化の担い手や鑑賞者を育成するための子どもたちへの文化芸術の普及事業 ・障害や経済状況等の何らかの事情により文化芸術に触れる機会が少ない人を対象とした文化芸術の鑑賞事業 ・次代を担う新進芸術家の育成、支援事業 ・堺独自の歴史・文化資源を活用することで、内外の人々が堺に魅力と愛着が感じられる事業 ・質の高い鑑賞型ホール事業 					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益財団法人 堺市文化振興財団					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	文化芸術のすそ野の拡大と、文化芸術の力を活用した社会的課題の解決						
	当該目標を設定した理由	第2期堺文化芸術推進計画で、「文化芸術を通じた社会的課題の解決」を重点的施策に定めているため。					
	目標に対する実績	令和4年度市政モニターアンケートで、堺市の文化的環境に満足している割合の回答 ほぼ満足以上が67.4%					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	社会包摂型事業の実施本数	本	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	24	28	22	
			実績値	21	24		
	達成率	88%	86%				
当該指標を選定した理由	第2期堺文化芸術推進計画で、「文化芸術を通じた社会的課題の解決」を重点的施策に定めているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市文化振興財団が主催する社会包摂型事業の事業数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	事業番号	008-035
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	119,054	112,789	134,865	112,379	127,230
13 財源内訳					
国支出金	782	8,308	10,000	1,809	3,365
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	118,272	104,481	124,865	110,570	123,865
14 人件費 (b)	1,476	820	820	2,296	2,268
15 年間経費(c)=(a)+(b)	120,530	113,609	135,685	114,675	129,498

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R4	決算
16 事業費内訳	文化芸術振興事業	R4	決算	112,379	110,570	R4	決算		
		R5	予算	127,230	123,865	R5	予算		
		R4	決算			R4	決算		
		R5	予算			R5	予算		
		R4	決算			R4	決算		
		R5	予算			R5	予算		
		R4	決算			R4	決算		
		R5	予算			R5	予算		
		R4	決算			R4	決算		
		R5	予算			R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 堺市文化振興財団が行う文化芸術事業の入場者数	人	3,831	8,647
② 上記①にかかる年間経費	千円	112,789	112,379
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	29,441	12,996
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18 ・未来の文化芸術を担う子どもたちや、障害、家庭環境等の何らかの事情で文化芸術に触れることが難しい市民に対してのアウトリーチ事業や、若手アーティストの発掘、育成事業、文化施設等を活用してのホール公演など、幅広い事業を展開することができた。
- 18 ・令和3年度と比較すると、文化芸術フェスティバルといった広く市民に開かれたイベントを実施したことにより入場者数が増加し、事業に係る経費の見直し等により、単位当たり経費は改善した。また、文化芸術関係者によるトークイベントを実施し、現場に赴かなくても気軽に文化芸術に触れる機会を提供できるよう動画配信も合わせて実施した結果、3000回以上視聴いただくことができた。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19 ・（公財）堺市文化振興財団の事業については、アートマネジメントに関する専門性やネットワークなどを活かし、芸術家、堺市社会福祉協議会や堺アートカウンシルといった様々な主体と連携しながら、子どもや障害者、家庭環境等の何らかの事情で文化芸術に触れることが難しい市民に対してのアウトリーチ事業を実施する等、公益性の高い事業に注力した。また、堺アートカウンシルとの共催で指定管理者の企画担当者向けに社会包摂型ワークショップ実践研修を実施し、各指定管理館における企画力向上を図った。これらの事業についてはKPIへの寄与度は低いものの、本事業の「市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境」の構築及び「第2期堺文化芸術推進計画」に掲げる重点的施策「文化芸術を通じた社会的課題の解決」に寄与するものである。
- ・一方で、フェニーチェ堺や東文化会館、梅文会館等で文化芸術フェスティバルを開催するなど文化施設の利用者数増加にも一定寄与することができた。